

蕨 4 広報WARABI

2018/平成30年
わらび・806

- 平成30年4月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.11km²
- 3月1日現在人口：74,455人 前月比 -91人
男 37,828人 女 36,627人
世帯数：38,199
人口密度：14,570人/km²

“わくわく”が
満開の春が来た



～今月の特集～

- 新年度予算
- 錦町スポーツ広場
リニューアルオープン！

わ
WARABI

日本一住みやすいまち コンパクトシティ蕨の実現へ

平成30年度

蕨市の予算

平成30年度がスタートしました。そこで今月は2ページから9ページまでにわたり、新年度予算の概要と主な事業を紹介します。ここ2、3ページでは、頼高英雄蕨市長に新年度の予算編成や市政運営の考え方についてお聞きしました。

全力で市政運営



よりたか ひでお 頼高 英雄 蕨市長

— 30年度の予算編成の考え方を
お聞かせください。

市長 30年度はこれまで進めてきた「あったか市政」の成果の上に立ち、未来への更なる前進に向けて大きな一歩を踏み出すことを最大のテーマとしていきます。そうした考えに基づき、安全安心、にぎわい、みんなにあたたかいまちづくりの3つの基本方向に沿った重点事業と、蕨の未来に向けた3大プロジェクトを進める、「未来への前進」を予算編成の特徴としました。

▼ **3つの基本方向に沿った重点事業**

① **安全で安心できるまち**

市長 公共施設の耐震化事業として、錦町児童館と図書館の耐震化工事、消防署分署の建替え設計等を実施するほか、1年前倒しとなった蕨駅のホームドア設置については、県とともにJR東日本へ補助を行い、早期設

平成30年度予算の特徴：「未来への前進」

▶ 3つの基本方向に沿った重点事業

- ◇ 安全で安心できるまち
- ◇ にぎわいあふれる元気なまち
- ◇ みんなにあたたかく
だれもが住みやすいまち

▶ 未来に向けた3大プロジェクト

- ◇ 超高齢社会への対応
- ◇ 蕨駅西口再開発
- ◇ 市庁舎の建替え

Interview

頼高 英雄
蕨市長

蕨の「未来への前進」に向けて



子育て支援や教育に力を入れ、昨年の市民意識調査では市政に対する満足度において子育て支援が第2位になりました。人口減少社会が進展するなか、今後も子育て世代に優しい環境づくりを進めます

置に向けた取り組みを進めていきます。また、救命率向上に向け、コンビニエンスストア等にAEDを設置する街なかAEDステーション事業を開始します。

②にぎわいあふれる元気なまち
市長 双子織や河鍋眺斎、わらびりんごをはじめ、地域資源を生かした蕨ブランドの取り組みなどによりシテイプロジェクトを推進するほか、観光事業としてわらてつまつりへの支援を行います。また、昨年新たなイベントとして盛大に開催した市民音楽祭を更に発展させ、まちなぎわいにつなげていきます。

**③みんなにあたたかく
だれもが住みやすいまち**
市長 小規模保育園3園の増設保育・子育てコンシェルジュの配置といった子育て支援をはじめ

め、ALTの増員による小学校の外国語教育の充実、市内4か所目の特別養護老人ホーム整備に向けた支援、市立病院の将来構想の策定に取り組み、みんなにあたたかいまちづくりを更に推進します。国保広域化への対応についても市民の暮らしや健康を守る立場から、30年度は国保税を据え置く決断をしました。

▼未来に向けた
3大プロジェクト

①超高齢社会への対応
市長 団塊世代が75歳を迎える2025年が迫るなか、引き続き、健康寿命の延伸、地域包括ケアシステムの構築、高齢者のまちづくりへの参加という3つの柱に沿って事業を進めます。従来の取り組みを発展させた健康長寿蕨市モデル事業のほか、地



健康寿命の延伸や地域包括ケアシステムへの構築、元気なシニアのまちづくりへのいっそうの参加といった3つの柱に沿って取り組みを進め、超高齢社会を見据えたまちづくりを更に前進させてい

域包括ケアシステムモデル事業、アクティブシニア社会参加支援事業により、超高齢社会を見据えたまちづくりを前進させます。

②蕨駅西口再開発
市長 蕨駅西口再開発は、まちなぎわいの創出や市民の利便性の向上、選ばれる都市づくりの核となる事業です。準備組合が事業計画の作成に取りかかる30年度は、市として作成に対する補助を行うとともに、都市計画の変更手続きを進めるほか、再開発内で整備をする公共公益施設の基本的な方針を策定するなど、事業の大きな一歩を踏み出していきたくと考えています。

③市庁舎の建替え
市長 現在地での建替えを基本とする基本方針を決定した市庁舎の耐震化整備については、30

年度には審議会を設置し、市民の皆さんのご意見を伺いながら、新庁舎建設の骨格となる基本理念や庁舎の規模、機能などをまとめた基本構想・基本計画の策定に取り組んでいきます。

―30年度の市政運営に取り組む決意をお聞かせください。―
市長 超高齢化や人口減少社会の進展、首都直下地震への対応など日本全体が大きな課題に直面するなか、歴史・文化の豊かさや利便性の高さ、そして優れた地域力を持つ蕨は、こうした課題を乗り越える力があります。30年度も市長として、7万4000市民の幸せ、更には未来を見据えたまちづくりを市民の皆さんと進め、全国に誇れる日本一住みやすいコンパクトシティ蕨の実現に全力を尽くします。

6つの柱で推進

蕨のまちづくり

4階から7階までは、新年度の主な事業を「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンに掲げるまちづくりの6つの基本目標に沿って紹介します。

1 安全で安心して暮らせるまち

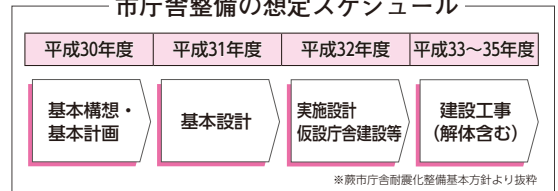


市庁舎の建替えは蕨の将来にかかる一大事業

主な事業とその予算

- ◇新庁舎建設基本構想・基本計画の策定……1,347万円
→市庁舎の耐震化整備は、29年度に現在地での建替えを基本とする基本方針を決定。30年度は、新庁舎建設の骨格となる基本理念や庁舎の規模、機能などをまとめた「新庁舎建設基本構想・基本計画」を策定します
- ◇消防署塚越分署の整備 ……3,889万円
→現在地での建替えに向け、工事の設計などを行います
- ◇公共施設の耐震化の推進……8,284万円
→錦町児童館(4,780万円)と図書館(2,590万円)の耐震補強工事、市営住宅2棟(914万円)の耐震診断を実施
- ◇自主防災会へのスタンドパイプ配備・備品等……837万円
→13の自主防災会へスタンドパイプを配備。これに伴い、全ての自主防災会に配備されることとなります
- ◇街なかAEDステーション事業……107万円
→24時間営業をしている市内のコンビニエンスストアとガソリンスタンドにAEDを設置します

市庁舎整備の想定スケジュール



市民に親しまれる新庁舎を

期待の声

市庁舎は市民がよく訪れる場所であるとともに、災害時にはその対応の拠点となる重要な施設です。そうしたことを踏まえ、実利面を重視しつつ、将来にわたって、多くの人に親しまれる新庁舎になることを期待します。



飯川 有宜さん
中央2丁目・40歳

街なか AEDステーション

突然の心肺停止の際に使用するAED(自動体外式除細動器)を市内で24時間営業を行うコンビニエンスストアとガソリンスタンドに設置し、救命率向上につなげていきます(操作方法を学べる救命講習会の日程は15頁をご参照ください)。



消防署塚越分署の整備

現在地での建替え設計と一時移転先の市民公園管理棟内の整備を実施。分署の解体・建設工事は来年度に実施予定。

- ▶消防署塚越分署
- ▼市民公園管理棟



2 豊かな個性を育み

子どもたちの未来輝くまち



- 1 子どもたちの笑顔が広がるまちに
- 2 保育・子育てに関する相談支援体制の拡充に向け、コンシェルジュを市役所2階児童福祉課へ配置
- 3 外国語指導助手(ALT)を増員し、外国語教育の充実を図ります
- 4 引き続き、35人程度学級を実施

2	1
3	
4	

主な事業とその予算

- ◇小規模保育園の管理運営……………3億4,600万円
→新たに開園する3園(うち1園は認可外保育園からの移行)を含む、計11園分の管理運営に要する費用
- ◇民間認可保育園の管理運営……………8億500万円
→計8園分の管理運営に要する費用
- ◇保育・子育てコンシェルジュの配置……………234万円
→保育園等の利用に関する相談や子育て支援事業に関する情報提供を行うため、コンシェルジュを1人配置。保護者からの相談にきめ細やかに対応します
- ◇教育センター機能の充実……………811万円
→外国人児童生徒への日本語指導や教職員研修を充実させるため、場所を福祉・児童センターから中央小学校へ移転するほか、新たに主任指導員を配置します
- ◇外国語教育等推進事業……………2,510万円
→再来年度から完全実施となる小学校の外国語教科化に伴い、外国語活動の授業時間の増加に対応するため、外国語指導助手(ALT)を5人から7人に増員
- ◇35人程度学級の実施……………2,736万円
→引き続き、小学校全学年において35人程度学級を実施し、一人ひとりに行き届いた教育を目指します
- ◇小学校トイレの改修……………3,600万円
→30年度は北小学校と塚越小学校を改修します

3園の小規模保育園を増設

待機児童の解消に向けて、29年度に小規模保育園の開設事業者の公募を行い、4月から3園開設されることになりました(定員は3園合わせて53人)。



(左上から時計回り) サンロード保育園(塚越1丁目)、サンロード保育園の園内の様子、つかさ保育園蕨市わらび第二園(錦町6丁目)、キッズフィールドわらび北町園(北町1丁目)

心強いきめ細かい相談体制

現在1歳の子がいて育休中です。保育園の利用などを相談できると心強いですが、保育園も増え、ソフトとハードの両面で取り組みが進んでいます。環境の充実をお願いします。

期待の声



たかはし ひろこ
高橋 寛子さん
錦町2丁目・28歳



健康づくりの輪を広げる「健康長寿蕨市モデル事業」

来年2月開設(予定)
市内4か所目の特別養護老人ホーム

▶外観イメージ
▼整備が進む現地



社会福祉法人が運営。個室40床、多床室50床、シヨートステイ10床。ところ＝中央7-37付近

楽しみながら歩いて健康に

28年度から健康プロジェクトに参加し、毎日1万歩以上歩きます。最近、膝の調子がよく、気持ちも軽やかです。参加方法が増え、ポイントも貯まる新事業で健康づくりの輪が更に広がると思います。

期待の声



かとう としこ
加藤 敏子さん
北町5丁目・68歳

5 快適で過ごしやすく環境にやさしいまち

主な事業とその予算

- ◇蕨駅ホームドアの整備……………740万円
→30年度から2か年にわたり設置工事が行われるため、県とともにJR東日本に対する補助を行います(早期設置を求める取り組みにより、設置が1年前倒しとなりました)
- ◇橋りょう改修工事の設計……………2,990万円
→28年度に実施した点検の結果を踏まえ、塚越陸橋など6橋分の補修等工事の設計を実施します
- ◇公共下水道事業特別会計への繰出金……………5億8,689万円
→特別会計(総額16億9,000万円)への繰出金。施設管理や管路築造のほか、老朽化対策として、下水道管路の長寿命化工事の設計に1,320万円を計上しました
- ◇錦町土地区画整理事業特別会計への繰出金…8億9,499万円
→特別会計(総額14億7,500万円)への繰出金
- ◇飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金……………40万円
→飼い主のいない猫の不妊・去勢の手術を受けさせた人に、1頭につき、5,000円を補助する制度を新設します



インフラの老朽化対策を推進(塚越陸橋)

インフラの計画的な対策を

老朽化する社会インフラへの対応は日本全体の課題だと思います。日頃は意識せず使っている道路や橋、上下水道は生活に欠かせないものなので、財政状況を踏まえ、事故が起きないよう計画的に対策を進めてほしいですね。

期待の声



まさちか あきら
政近 明さん
塚越4丁目・46歳

4 にぎわいと活力、市民文化と

歴史がとけあう元気なまち

主な事業とその予算

- ◇蕨駅西口市街地再開発事業の推進……9,180万円
→蕨駅西口地区市街地再開発準備組合が実施する事業計画の作成に対して補助金を交付し、事業の推進を支援します
- ◇中心市街地活性化基本計画の推進……338万円
→中心市街地整備推進機構の蕨市にぎわいまちづくり連合会への補助等。関係機関と連携し、計画を推進します
- ◇蕨ブランド認定品の情報発信……93万円
→イベントへの出展やパンフレットの配布により、蕨ブランドをPRします
- ◇中央公民館と西公民館へのエレベーター設置の調査・設計……1,918万円
→設置にかかる調査を行い、設計を実施
- ◇音楽によるまちづくり……321万円
→メイン事業でもある市民音楽祭をまちの活性化につながるイベントとして更に発展させて、「わら音」を推進します



大きな一歩を踏み出す蕨駅西口再開発事業



わらびりんごや双子織など、地域資源を生かした蕨ブランドの取り組みを推進

音楽で蕨の更なる活性化を

蕨フィルハーモニックウインズの一員として昨年の市民音楽祭に出演しました。催しには老若男女が参加し、皆さん楽しそうに演奏していたと思います。音楽によるまちづくりを通じて、蕨が更に活気づくとうれしいです。

期待の 声



たじり あんな
田尻 杏奈さん
中央7丁目・23歳



2日間にわたり13会場・18ステージで開催し、大盛況となった昨年の市民音楽祭。まちの活性化につながるイベントとして、30年度も実施します

6 一人ひとりの心でつなぐ 笑顔あふれるまち

主な事業とその予算

- ◇アクティブシニア社会参加支援事業……300万円
→引き続き、元気なシニア世代の皆さんが市民活動やボランティアなどに参加するきっかけづくりに向けて、見本市（6月16日）や体験会などのイベントを開催します
- ◇協働提案事業の実施……30万円
→防災の知識について学ぶ「わらび防災大学校」を開催します
- ◇青少年海外派遣事業……50万円
→蕨・独リンデン市民交流協会が行っているドイツ・リンデン市への青少年の訪問費用の一部を助成します



アクティブシニア社会参加支援事業・見本市の参加団体への説明会

支援で広がる地域への一歩

定年後を見据え、蕨市や県のアクティブシニアの事業に参加し、地域の皆さんとの交流が広がりつつあります。はじめの一歩は踏み出しにくいので支援により、地域デビューの環境を整えるのはいい取り組みだと思います。

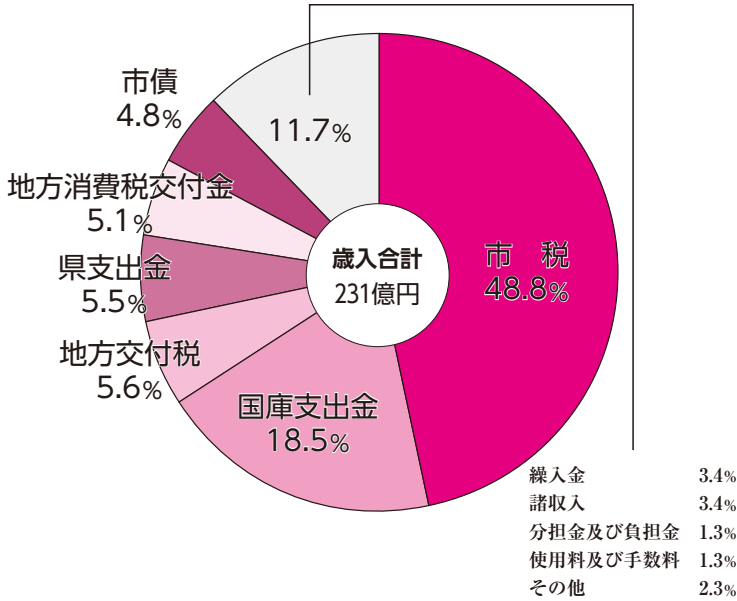
期待の 声



こうの てつや
幸野 哲也さん
南町2丁目・58歳

平成30年度 一般会計予算

231億円



ここ8、9年では、市民の皆さんの生活に関係の深い一般会計の歳入・歳出の構成比などについて紹介します。30年度の一般会計は前年度比2.5%減の231億円となり、6つの特別会計と病院・水道の企業会計を合わせた蕨市全体の予算総額は約444億3,670万円となりました。

（歳入の概要）

歳入の約49%を占める市税は、個人市民税の増などにより、前年度比2億2,000万円増の112億7,000万円を見込んでいます。続いて、国庫支出金、地方交付税の順となっています。

（主な用語）

- 市税**：市民税・固定資産税など、皆さんに納めていただいているお金
- 国庫支出金**：特定の事業を促進する目的で使いみちを指定し、国から交付されるお金
- 地方交付税**：地方公共団体間の財政の不均衡を是正するため、国から交付されるお金
- 県支出金**：特定の事業を促進する目的で使いみちを指定し、県から交付されるお金

一般会計（歳入）

科目	本年度	前年度	比較	伸び率
市税	11,270,000	11,050,000	220,000	2.0
地方譲与税	100,000	100,000	0	0.0
利子割交付金	15,000	15,000	0	0.0
配当割交付金	30,000	40,000	△10,000	△25.0
株式等譲渡金	40,000	40,000	0	0.0
地方消費税交付金	1,180,000	1,070,000	110,000	10.3
自動車取得税交付金	30,000	30,000	0	0.0
地方特例金	45,000	45,000	0	0.0
地方交付税	1,290,000	1,390,000	△100,000	△7.2
交通安全対策特別交付金	8,000	8,000	0	0.0
分担金及び負担金	305,886	302,990	2,896	1.0
使用料及び手数料	296,838	282,383	14,455	5.1
国庫支出金	4,273,192	4,157,667	115,525	2.8
県支出金	1,270,961	1,231,082	39,879	3.2
財産収入	109,908	106,746	3,162	3.0
寄附金	16,000	20,500	△4,500	△22.0
繰入金	778,260	1,217,757	△439,497	△36.1
繰越金	150,000	150,000	0	0.0
諸収入	774,555	866,375	△91,820	△10.6
市債	1,116,400	1,566,500	△450,100	△28.7
合計	23,100,000	23,690,000	△590,000	△2.5

単位=千円、%

労働費	衛生費	民生費	総務費	一般会計予算（主な事業）
◎◇☆「蕨ブランド」認定品の情報発信 4、680 933	拡◇ 総合健康診査事業（胃内視鏡検査を一部対応可能に） 68、086 新◇ 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金 4、400 拡◇◇ がん検診等委託料 104、815 拡◇◇◇ 健康長寿事業 4、459 新◇ 自殺対策計画の策定 2、564	拡◇ 地域型保育給付費 2、942、143 ◎◇☆ 民間保育園管理運営 3、460、000 新◇ 保育・子育てコンシェルジュの配置 805、000 ◎◇☆ 留守家庭児童指導室管理運営 1、233、504 ◇ 錦町児童館耐震補強工事 47、800 後期高齢者医療特別会計繰出金 1、633、159 療養給付費負担金 525、758 介護保険特別会計繰出金 777、142 ◎◇◇ 特別養護老人ホーム用地確保奨励金 1、154、006 国民健康保険特別会計繰出金 3、400 拡◇ 民生・児童委員協議会補助金 14、522 拡◇☆ 収納対策（臨時職員の配置等） 5、389 新◇ 新庁舎建設基本構想・基本計画策定事業 1、347、992 新◇ 市制施行60周年記念事業準備 4、492 新◇ 蕨駅ホームドア整備費補助金 7、400 新◇ 「コンパクトシティ」後期実現計画の策定 6、281 ◎◇☆ 土地購入費（土地開発公社健全化） 219、511 拡◇ 広報紙発行事業（「広報蕨」をカラー化） 14、444	◇ 通話録音装置貸与事業 550 拡◇ 広報紙発行事業（「広報蕨」をカラー化） 14、444 ◎◇☆ 土地購入費（土地開発公社健全化） 219、511 新◇ 「コンパクトシティ」後期実現計画の策定 6、281 新◇ 蕨駅ホームドア整備費補助金 7、400 新◇ 市制施行60周年記念事業準備 4、492 新◇ 新庁舎建設基本構想・基本計画策定事業 1、347、992 新◇ 収納対策（臨時職員の配置等） 5、389 新◇ 民生・児童委員協議会補助金 14、522	◎ 主な事業のうち、「新」は新事業、「拡」は拡充事業、「◎」は市長マニフェスト項目、「◇」は「コンパクトシティ」将来ビジョン重点プロジェクト項目、「☆」は「コンパクトシティ」将来ビジョン推進ラン項目 単位：千円

一般会計(歳出)

科目	本年度	前年度	比較	伸び率
議会費	248,273	247,816	457	0.2
総務費	2,440,650	2,580,503	△139,853	△5.4
民生費	11,718,554	11,636,977	81,577	0.7
衛生費	2,067,975	2,059,680	8,295	0.4
労働費	31,583	67,155	△35,572	△53.0
農林水産業費	7,983	7,605	378	5.0
商工費	220,703	249,327	△28,624	△11.5
土木費	2,196,452	2,214,169	△17,717	△0.8
消防費	807,183	766,153	41,030	5.4
教育費	1,968,673	2,530,070	△561,397	△22.2
公債費	1,297,328	1,248,565	48,763	3.9
諸支出金	64,643	51,980	12,663	24.4
予備費	30,000	30,000	0	0.0
合計	23,100,000	23,690,000	△590,000	△2.5

特別会計

会計名	本年度	前年度	伸び率
国民健康保険	7,476,000	9,073,000	△17.6
公共下水道事業	1,690,000	1,632,000	3.6
錦町土地区画整理事業	1,475,000	1,474,000	0.1
介護保険	5,128,000	4,884,000	5.0
後期高齢者医療	895,000	829,000	8.0
公共用地先行取得事業	47,000	70,000	△32.9
合計	16,711,000	17,962,000	△7.0

企業会計

会計名	予算科目	本年度	前年度	伸び率
病院事業会計	収益的支出	3,302,787	3,264,340	1.2
水道事業会計	収益的支出	1,322,922	1,307,619	1.2
合計		4,625,709	4,571,959	1.2

蕨市全体の予算総額 約444億3,670万円

会計名	本年度	前年度	伸び率
一般会計	23,100,000	23,690,000	△2.5
特別会計	16,711,000	17,962,000	△7.0
企業会計	4,625,709	4,571,959	1.2
合計	44,436,709	46,223,959	△3.9

単位=千円、%

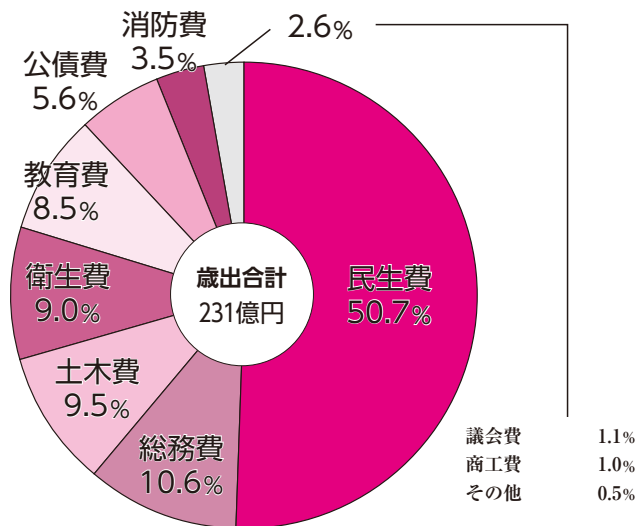
市民1人当たりの予算は

309,751円

※30.1.1の人口(74,576人)で算出

使いみちは

民生費	157,136円	総務費	32,727円
土木費	29,453円	衛生費	27,730円
教育費	26,398円	公債費	17,396円
消防費	10,824円	その他	8,087円



(歳出の概要)

歳出の約51%を占める民生費は、民間認可保育園や小規模保育園の運営にかかる子育て関連予算の増額などにより、8,157万7千円増となっています。続いて、総務費、土木費の順となっています。

(主な用語)

- 民生費：児童、高齢者、障害者福祉などに要する費用
- 総務費：人事、戸籍、情報管理、庁舎管理、防犯、交通安全などに要する費用
- 土木費：道路、公園、市営住宅などに要する費用
- 衛生費：健康増進・予防、環境、ごみ処理などに要する費用
- 教育費：学校教育、公民館、生涯学習などに要する費用
- 公債費：借入金や利子の支払いに要する費用
- 消防費：消防、救急、災害対策などに要する費用

教育費				消防費				土木費				商工費														
拡		拡	拡	新	新			新				拡														
学校給食センター改修工事設計委託料	歴史民俗資料館・分館にAEDを設置	図書館耐震補強工事	公民館改修工事	公民館改修工事調査・設計委託料	音楽によるまちづくり推進事業	中学校校舎等改修工事	小学校校舎等改修工事	外国語教育等推進事業(外国語指導助手の増員)	道徳教育本格的改善・充実支援事業	全国瞬時警報システム更新工事	災害図上訓練等委託料(協働提案事業)	緊急連絡・安否確認体制の構築	災害対策用備品	消防署塚越分署整備事業	街なかAEDステーション事業	市営住宅耐震診断委託料	桜並木剪定委託料	公共下水道事業特別会計繰出金	錦町土地区画整理事業特別会計繰出金	中央第一地区まちづくり事業	新◎☆ 駅西口地区市街地再開発事業補助金	水路改修工事設計委託料	橋りょう改修工事設計委託料	舗装道等補修工事	中心市街地活性化事業	商店街活性化事業費補助金
3,024	1,308	2,590	8,100	1,450	3,210	7,570	8,115	2,510	1,020	5,010	3,303	7,988	8,376	3,890	1,070	9,146	1,944	8,990	5,838	9,180	4,104	2,990	3,200	3,381	2,250	3,528

錦町スポーツ広場 リニューアルオープン!



▲リニューアルした錦町スポーツ広場で元気いっぱいピッチを駆け回る蕨北町サッカーと蕨塚越サッカースポーツ少年団

スポーツ振興と活気ある元気なまちづくりに向けて、人工芝化などの改修を進めてきた錦町スポーツ広場。この度、整備が完了し、先月から一般利用を再開しました。ここ10、11分では装い新たに変わった同施設を紹介します。

錦町スポーツ広場の概要

ところ = 錦町2-6
面積 = 約4,685平方メートル
開設 = 昭和60年8月
主な整備 = グラウンドの人工芝化、夜間照明灯の新設など
用途 = 少年サッカー、フットサル、グラウンドゴルフなど



昨

年の夏から改修を行ってきた錦町スポーツ広場。

整備の第一のポイントは、グラウンドの人工芝化です。クッション性に優れ、高い耐久性を持つ人工芝を採用。天候にも左右されずに利用できます。2点目は照明灯の設置です。改修前は、日没までだった使用時間は午後9時までとなりました。3点目として観戦や休憩のためのスペースを確保しています。

2月からリニューアルオープンイベントを開催し、先月には一般利用を再開した錦町スポーツ広場。地域の皆さんや気の合う仲間とぜひご利用ください。

問い合わせ || 生涯学習スポーツ課 (☎433・7730)

Point3



▲敷地内に観戦スペースを確保。ベンチを設けたほか、ネットやトイレもリニューアル

Point2



▲照明灯を8基設置し、夜9時までプレー可能に。平日もフットサルなどを楽しめます

Point1



▲ロングパイルという浦和レッズの練習場で使用されている素材と同等の人工芝を採用



リニールアルオープンイベント開催！

グラウンドゴルフ
交流大会

2月
24日



第一弾は群馬県片品村のグラウンドゴルフ協会の皆さんをお招きしての「蕨市・片品村グラウンドゴルフ交流大会」。暖かな日ざしの下、ホールを回った皆さんは爽やかな汗を流しながら交流しました。

親子で体験！
野球イベント

3月
21日



埼玉西武ライオンズの協力により「親子で体験！野球イベント」を第二弾として開催。元プロ野球選手をコーチに迎え、子どもたちは人工芝の感触を楽しみながら元氣よくボールを追いかけました。

浦和レッズ
サッカークリニック

3月
4日



第三弾は「浦和レッズハートフルクラブによるサッカークリニック」。あいにくの天候でしたが、スポーツ少年団の皆さんは浦和レッズのコーチから水を含んだ人工芝でのボールの扱い方も学びました。

ここからプロ選手に



すずき こうた
鈴木 昊汰さん
北町3丁目・8歳

土のグラウンドと違って、転んでも痛くないので思い切りプレーできました。もっとここで練習して、大きくなったらプロのサッカー選手になりたいです。

スポーツを通じ交流



まえだ あつし
前田 敦さん
錦町1丁目・42歳

息子と野球イベントに参加しました。これからは小さい子からお年寄りまで地域の皆さんがスポーツを楽しめるような催しが開かれるとうれしいですね。

錦町スポーツ広場の予約方法

施設の予約は、インターネットを用いた公共スポーツ予約システムで受け付けます。ご利用には、事前に団体登録を行う必要があります。所定の申込書に必要事項を記入し、市内団体として登録する場合は代表者及び構成員の半数以上

上の身分証の写しを合わせて生涯学習スポーツ課(☎433・7730)に提出してください。なお、市内団体は利用月の2か月前に抽選申し込みできます。



▲24時間、365日受付

使用時間

午前9時～午後9時

使用料

	全面	半面
グラウンド	4,000円	2,000円
夜間照明	3,000円	1,500円

※いずれも1時間の使用料。市外居住者(市内在学在勤者を除く)は2倍の額となります
※貸し出しは2時間単位
※半面でフットサルコート1面分となります



市長タウンミーティング
平成29年度の振り返りについて

レポート そここが知りたい

<130>

蕨のこれからについて語り合う 市長タウンミーティングを開催

市民の皆さんと市長が直接対話し、意見交換する場の一つとして平成20年度から毎年開催している「市長タウンミーティング」。今年は4月14日から22日まで、市内5地区で実施します。蕨のまちづくりのために皆さんのご意見をお聴かせください。

を平成20年度から開催しています。今年は14日に西公民館と東公民館、15日に南公民館、21日に北町公民館、22日に中央公民館と、市内の5地区で実施します(左下囲み)。

市政に関し理解深め 率直な意見を伝える

**市長と対話をする場
今年も各地区で実施**
市民の皆さんに市政への理解を深めていただき、まちづくりに対する声をお聴きすることは、誰もが住み続けたいと思えるまちづくりに欠かせません。そこで市では、市長が直接各地域に伺い、市民の皆さんと膝を交えながら蕨について語り合う市長タウンミーティング

タウンミーティングでは、多くのかたに市政について関心や親しみを持っていただくために、市長から「平成30年度の施策・予算について」をテーマに蕨市の取り組みを説明します。後半には意見交換の時間を設けていて、例年、市の財政や税金に関する質問から、子育てや公共施設、道路・公園などについての要望まで、さまざまな声をいただいています。ぜひ率直なご意見をお聴かせください。

皆さんの貴重な声で 魅力あふれるまちに

お寄せいただいた声がまちづくりに生かされた事例の一つとして挙げられるのが街なか防犯カメラ整備事業です。防犯カメラ設置の提案や安全安心に対する関心の高まりを受け、市ではこれまで市民の皆さんによる防

犯パトロールをはじめ、全ての防犯灯をLED化するなど防犯対策に力を入れてきました。そして昨年度には町会や警察との連携により、通学路など道路上を中心に市内全域で140基の防犯カメラを設置しました(下囲み)。こうした取り組みにより、市内の犯罪件数はピーク時の3分の1以下

市長タウンミーティング

テーマ

**「平成30年度の施策・
予算について」**

蕨市の取り組みについてお話しします!

どなたでも自由に参加できます

開催日時・場所

4月14日(土)	午後2時~3時半	西公民館
4月14日(土)	午後7時~8時半	東公民館
4月15日(日)	午後2時~3時半	南公民館
4月21日(土)	午前10時半~正午	北町公民館
4月22日(日)	午後2時半~4時	中央公民館

託児・手話通訳あり(託児は政策企画室に要事前申し込み)

皆さんの声で誰もがより安心して暮らせるまちに

これまで3,000基以上ある防犯灯をLED化したほか、昨年度には町会や警察と連携し、道路上を中心に市内全域で140基の防犯カメラを設置しました。これからも更なる防犯対策を進めています。



ドーム型



ガン型

カメラの設置場所はプライバシーに配慮しています

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

〔仲間になりませんか〕

▼オカリーナわらび(オカリナ) 月4回火曜日 午前9時

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

▼蕨北町サッカークラブ 土・日曜日・祝日 北小 月1500円

7/21~8/1

in わらび
国際青少年キャンプ



参加者募集

次代を担う青少年たちが国を越えて一堂に会し、交流を育む国際青少年キャンプ。16回目の今回は蕨の姉妹都市アメリカ・エルドラド群やふれあい交流協定を結ぶ群馬県片品村の青少年たちと上尾市のスポーツ総合センターでキャンプを開催します。

青少年

募集しています

7月23日～26日に海外の青少年とキャンプでスポーツ・文化交流
対象=おおむね14～17歳の市内在住者で、事前研修や報告会に参加できる人 定員=15人 費用=5,000円 選考=書類・面接 申し込み=24日までに申込書を秘書広報課へ持参。申し込み時に面接日を決定。
※申込書は学校、公民館、図書館、同課か市ホームページで入手可。

ホストファミリー

海外青少年のホームステイに協力していただける家庭 期間=7月21日～8月1日(7月23日～26日は除く)※下表参照。

国際交流事業実行委員会委員

市の国際交流事業に興味のあるかた、いっしょに活動しませんか。

キャンプ日程

7月21日～22日	海外参加者受け入れ・家庭プログラム
23日～26日	スポーツ総合センターでキャンプ(上尾市)
27日～8月1日	市内巡り・交流会・家庭プログラム など

問い合わせ=秘書広報課(☎433-7702)

開幕飾る優雅な演奏会



歴史民俗資料館では、「高木亮きりえ展」風の景色」を今月29日まで開いています。初日の2月24日には、ブルースハーパート、ギター、アルパによるコンサートを開催。来場者200人は、美しい音色と叙情あふれる作品のなかで心豊かな時間を過ごしました。

健やかな成長願う催し



3月2日、たんぼぼ保育園で女の子の健やかな成長を願う桃の節句を前に「ひな祭り会」が行われました。先生によるお話や紙芝居のほか、園児たちが歌や自分で作ったひな飾りを発表。参加した119人は日本の伝統文化に触れながら、季節の行事を楽しみました。

地域の宝広める接ぎ木



地域にわらびんごを広めていこうと、3月6日、西公民館で接ぎ木講習会が開かれました。講師を務めたのは普及活動を行っている「わらびりんごの会」の皆さん。台木への接ぎ木に挑戦した参加者10人は、自分たちで作った苗木計20本の生長に胸を躍らせていました。

力作そろそろ南町文化展



3月17日と18日、南公民館で「桜のまち南町文化展」が開催されました。地域の皆さんをはじめ、民館でゆかりのある芸術家の絵画や俳句、書道といった作品展示、講演会など盛りだくさんのイベント。訪れた417人は催しを通じて芸術文化への関心を高めました。

理解深める多文化共生



生涯学習の振興や地域の交流を目的に「生涯学習活動推進事業」が3月24日、中央公民館で開かれました。地域に住む外国人との交流を題材にした講演や在住外国人による体験談のほか、二胡の演奏などが行われ、訪れた1747人は多文化共生への理解を深めました。

まちの話題

- ▼揚名時(太極拳) 土曜日午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円 浦島 224・5915
- ▼南団基クラブ 火曜日午前9時 南公民館 無料 山本・☎432・4543
- ▼ねこのみみ(市民交流・談話) 月1回 正午 市内 500円 北田・☎432・8501
- (参加しませんが)
- ▼北町ドッジボールクラブ 1日・8日・15日 午後1時27日 午後3時 市民体育館 無料 北小の小学生 大矢・☎090・9952・7658
- ▼源氏物語絵巻・五島美術館参加者説明会 日時等は電話確認 日帰り旅倶楽部・岩本・☎090・3431・4295
- ▼カン・若葉ダンスパーティー 14日・24日 午後1時15分 600円 くるる 坂内・☎443・8968
- ▼SKKDダンスパーティー 5日・12日・26日 午後1時から くるる 499円 犬塚・☎080・5183・8342
- ▼江戸あるき「旧川越街道」上板橋宿と渋沢栄一 元蕨市長金子吉衛氏ゆかりの都立養育院の地へ 7日・12日 午前9時 蕨駅改札前 700円 富山・☎090・2764・1342
- (相談ください)
- ▼蕨断酒会(酒害相談) 3日 中央公民館 13日 南公民館 19日 旭町公民館 午後7時 語り合いの場 高橋・☎090・2302・8510

健康長寿蕨市 モデル事業

—ウォーキングで健康づくり—

期間：4月2日～来年3月31日
対象：18歳以上の市内在住者
詳細：保健センター(☎431・5590)

どんどん健康に

ぐんぐん歩いて

市では「健康長寿蕨市モデル事業」を4月から開始します。ウォーキングと中強度の運動を通じて健康づくりに励むこの事業にぜひ参加しませんか。

自分にちょうどいい方法で参加する

どちらの方法も
特産品が
当たる!?
【抽選】

歩数計を使って参加する

問 保健センター(☎431・5590)

①保健センターへ申し込み

保健センター、公民館で配布の申込書に必要事項を記入し、持参、郵送で同センター(北町2-12-15 ☎431・5590)へお申し込みください。※電話でも申し込み可。

その後、申込日の1週間後以降に開催される説明会にお越しください。

②説明会に参加

保健センターを会場に右表の日程で説明会を開催します。説明会では専用の歩数計の使用法やポイント制度について案内します。

※歩数計は後日配付となります。
※既に活動量計をお持ちの方は、ご自身の物でご参加ください。



※写真はイメージ

4月	19日(木)	午前10時半
	24日(火)	
5月	22日(火)	
6月	19日(火)	
	26日(火)	

※7月以降の日程については市ホームページなどでお知らせします。

③わらび健康アップステーションに来場

歩数計を携帯していただき、月1回以上、わらび健康アップステーション(下囲み)にお越しください。歩数計のデータを取り込むと、ポイントが貯まります。

スマートフォンで参加する

問 コバトン健康マイレージ事務局(☎0570・035810)

①「コバトン健康アプリ」をダウンロード

同アプリをダウンロードしてください。対応する機種については、右QRコードを読み取り後に表示される県の「コバトン健康マイレージ」公式ホームページ(<https://kobaton-mileage.jp/>)にてご確認ください。歩数ポイントの付与は手続き完了後に行われます。



②WEBで申し込み

各自のスマートフォンを用いて、同ホームページにてお申し込みください。

申し込み完了後、画面の案内に従い、4週間以内に県健康マイレージ事務局へ健康保険証のコピーを郵送してください。

③アプリから歩数データを送信

スマートフォンを携帯してください。歩数に応じてポイントが貯まります。各自でアプリを通じて歩数データを送信します。



貯めたポイントで
抽選に参加しよう!

いずれの参加方法でも、貯めたポイントで県内の特産品などが賞品の抽選に応募できます。ぜひ活用して、楽しく健康度を上げましょう。



※詳細は左QRコードを読み取り、ご確認ください。

わらび健康アップステーション

健康情報の発信や催しの開催場所として設置します(予定)

ところ=埼玉りそな銀行蕨支店(中央3-18-3)

※来月の開所に向けて準備を進めています。詳細は市ホームページなどでお確かめください。

問い合わせ=保健センター(☎431・5590)



健 康寿命の延伸を目的に、わらび健康アップステーション(左欄)を拠点に県の健康長寿モデル事業として、27年度から3年間にわたって取り組んできたのが、「ウォーキングと筋力アップで健康密度も日本一プロジェクト」です。参加者の健康度の向上や医療費抑制などの成果をあげることができました。今年度は県の健康マイレージ事業と連携して、ウォーキングと中強度の運動による健康づくりをいっそう進めようと健康長寿蕨市モデル事業を実施します。同ステーションによる歩き方講座なども予定していますので、ぜひ、ご参加ください。

普通救命講習会

とき = 11日・25日・5月9日・23日・6月10日・23日 いずれも午前9時
 ところ = 消防本部3階
 対象 = 中学生以上の市内在住勤在学者
 内容 = AEDの使用法、心肺蘇生法など
 申し込み = 同本部総務課 (☎441・0173)

※市民活動団体にAEDの貸し出しも行っていきます

AED

(自動体外式除細動器)

あなたの**勇気と行動**で
 救える**命**があります



今年度から街なかAEDステーション事業を実施し、より身近になるAED。いざというときに落ち着いて使用することができるよう、救命講習会に参加しましょう。

周

囲の人が心肺停止になったとき、生存率を高めるのに重要なのがAEDを使用するなどの応急手当です。市では今年度、街なかAEDステーション事業を実施し、24時間使用できるようにコンビニエンスストアなどに機器を設置します。

AEDは電源を入れますと音声で使用方法が案内されるので安心して扱えますが、いざというときに初めてだと戸惑ってしまうかもしれません。落ち着いて使用できるように普通救命講習会(左上囲み)に参加し、心構えを持っておきましょう。

問い合わせ 消防本部
 総務課(☎441・0173)



救命講習会の様子

紹介します！皆さんの市民活動

**キラリ!!
 みんなの力**

～ 健康太極拳わかば塚越 ～



剣や扇を使ったさまざまな型も練習しています。興味のあるかたは大瀧(☎445・6964)までご連絡ください。

わが家のアイドル



あ お
亜緒ちゃん
 (5歳5か月)

た なか
田中 裕さん
 まさこ
雅子さんの
 二男
 塚越4丁目

-552-

「人なつっこい性格でみんなからかわいがられている亜緒。年中になつてからは、年下の子が泣いていると頭をなでて慰める優しい一面も見ることができ、成長を感じられてうれしいですね。最近、兄の亜瑠といっし

よのチームに入つてネオホッケーをプレーしたり、学習塾に通い始めたりといろいろなことに挑戦しています。これからは経験を重ねて、いつかは亜緒自身が夢中になれることを見つけてほしいですね」と、母親の雅子さん。

メッセージ

健

康太極拳わかば塚越は平成4年に創立した団体で、現在約20人の会員がいます。活動は毎週土曜日(午後2時)と、上級者向けとして第2・4水曜日(午後6時)

に東公民館で「健康で長く続けること」を信条に楽しく練習しています。太極拳はゆつくりと柔らかく全身を動かすため、老若男女誰でもできて健



おおたき まこと
大瀧 信 代表



音楽に合わせて型を練習する皆さん

康維持に効果があるのが特徴です。会員の中には指導員の資格を持った講師がいるため、初心者でもしっかりと学ぶことができ、上達していけば段位検定に挑戦することもできます。また、会として県の武術太極拳交流大会で賞をもらったこともあるんですよ。その他、市の大会や生涯学習フェスティバルなどでも日頃の成果を披露しています。会員どうしの仲が良く、練習の合間には会話がはずみ和気あいあいとしているので仲間作りにももってこいです。6月に開催される市民活動見本市に出展しますので、興味のあるかたは見に来てください。いっしょに太極拳を楽しみながら心も体も元気になりましょう。



木の声に耳を傾ける和田さん

輝いています

樹木医

ひと

和田 正人 さん

まちと緑に寄り添いたい

「蔵」 つて緑が少ないんですよ。だからこそ一本一本の木をたいせつにしないとね」と話すのは、和田正人さん（68歳・南町4丁目）。物言わぬ木々と向き合い、病気のサインを見つけて回復に導く樹木医として、街路樹の診断などこれまで診てきた樹木は2000本以上に上ります。

和田さんが樹木医を志したのは20年以上前のことです。仕事の帰り道、病で弱りながらも凜と花開いた桜に魅せられ、一念発起し造園会社に転職。時間を見つけては勉強を重ね、樹木医の資格を取得すると、行政機関や企業からの依頼を受けて県内外の街路樹など多くの木を診てきました。

そんな和田さんは市内の木とも深いつながりがあります。毎年、『中仙道蔵宿・苗木市 藤まつり』（お知らせ版1頁）で公開され、親しまれている三学院の藤もその一つ。「樹齢100年以上といわれるこの地域の宝を守りたい」と、仲間の職人とともに、傷口に腐敗防止の墨を塗布したり、腐りかけの枝を剪定したりと、約15年、主治医として根気よく接してきました。そうしかいかいもあり、藤は市の天然記念物に指定され、その後、全国でも珍しい健康優良樹に県内で唯一選ばれています。

更に、市民活動に取り組み人と人材を求めるとを結び、わらびネットワークステーションのつながるバンクに登録し、蔵の樹木の魅力など、さまざまなことを伝えようと企画中です。6月16日の『ポラントニア・市民活動見本市』では、桜を枯らす外来の害虫『クビアカツヤカミキリ』や、ここ最近拡大するその被害について緊急レポートを発表します。

花が薫り、緑まばゆくなるこの季節。「樹をたいせつに思う人の気持ちに伝えたい」と、意欲を燃やす和田さん。その思いが実るまで地域に根ざした活動を続けていきます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No.23 —



暁翠筆「円窓 子とろ遊び」絹本着色

暁斎の娘・暁翠が「子とろ遊び」をする子どもたちを描いた掛軸です。子とろ遊びとは、鬼ごっここの一種で、列のいちばん前の「親」の後ろに「子」が並び、「鬼」が列のいちばん後ろの子を捕まえようとすることを「親」が手を広げて防ぐ遊びです。実は、この遊びは、古く平安時代に天台宗の僧・恵心が考案したとも言われ、仏教と関わり

深い遊びのようです。小さな作品ですが、子どもたちの表情や動きの描き方に、暁翠の愛情があふれています。

Kyosai Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい 河鍋 暁斎 天保2年(1831) ~明治22年(1889)



展示会の詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください



河鍋暁斎記念美術館 4月25日(水)まで 「あそびつくし」展

開館 = 午前10時～午後4時
休館 = 木曜日 毎月26日～末日
ところ = 南町4-36-4
入館料 = 一般500円 中学生～大学生400円 小学生以下200円 (20人以上の団体は要予約)
詳細 = 同館 ☎441・9780